

上高野だより

～第2回学校評価について～



<学校教育目標>

思いやりにあふれ、自ら考え行動する子の育成

tel (075) 701-3995 fax (075) 711-1990 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kamitakano-s/>

令和6年3月4日
京都市立上高野小学校
校長 坂井 仁

<結果の見方>

各項目上段：令和5年12月（今回） 下段：令和5年7月（前回）

<回答記号の内容>

A：よくできている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない

※ 設問3-2 「相談している人は、だれに相談しているか」については、

学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。結果と考察をいかして、今後もよりよい学校づくりに努めてまいります。

設問	設問項目	児童				保護者				教職員			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1	学校に楽しく通っている	41	49	8	2	41	52	5	2	25	75	0	0
		39	49	11	1	48	46	5	1	10	90	0	0
2	学校のことを家で話している	42	38	17	2	34	55	11	0	13	87	0	0
		37	46	15	1	40	53	7	1	0	70	30	0
3-1	困ったことがあると、だれかに相談している	21	54	19	6	25	59	16	0	該当設問なし			
		19	58	15	8	24	65	9	2	75	13	12	0
3-2	相談している人は、だれに相談しているか (A:家族 B:先生 C:友だち D:その他 複数回答可)	67	7	24	2	74	15	10	1	90	0	10	0
		65	8	18	1	73	17	8	2	13	87	0	0
4	授業で学習している内容が分かる	42	53	3	1	20	68	9	2	0	100	0	0
		41	53	6	0	21	70	8	1	75	13	12	0
5	家庭学習の意欲・習慣づけができている	34	37	17	12	13	65	16	6	20	70	10	0
		38	37	17	8	3	61	15	21	13	50	25	12
6	読書習慣がついている	36	33	23	8	13	34	45	8	20	40	40	0
		40	37	19	4	14	38	44	4	該当設問なし			
7	翌日の用意を自分でしている	67	26	4	3	38	52	10	0	13	50	25	12
		74	20	5	1	39	50	9	2	30	60	0	10
8	宿題や持ち物を忘れずに持ってくることができる	25	60	12	3	該当の設問なし				13	25	62	0
		29	62	9	0	23	61	16	0	10	60	30	0
9	自分からあいさつができる	35	52	11	2	25	57	18	0	13	87	0	0
		41	49	8	1	23	61	16	0	20	80	0	0
10	友だちと仲良くすごせている	56	38	5	2	37	59	5	0	13	87	0	0
		69	29	2	1	51	45	3	1	0	70	30	0
11	社会・学校・クラスのきまりを守れている	36	57	5	2	23	73	3	1	13	87	0	0
		38	54	7	0	29	66	5	1	0	88	12	0
12	正しくやさしい言葉づかいができる	27	58	13	2	16	70	14	1	10	50	40	0
		35	52	11	1	17	69	13	1	25	75	0	0
13	規則正しい生活ができる	29	56	12	2	27	66	6	1	30	70	0	0
		37	51	10	2	39	54	7	1	0	75	25	0
14	安全を意識できている	66	29	4	2	34	55	11	0	10	70	20	0
		74	22	4	0	35	62	4	9				

<学習面>

設問5「家庭学習の意欲・習慣づけができる」においては、保護者A評価が前回評価より10ポイント増加しており、個人懇談会や普段の情報交換などにより保護者との連携が深められ、家庭学習の充実につながっているものと思われる。各ご家庭においても、帰宅後の子どもたちに細やかな声かけをしていただいている様子がうかがえる。その一方で、設問6「読書習慣がついている」では、児童アンケートのAB評価が8ポイント、保護者アンケートでは5ポイント減少しており、コロナ禍以降少しずつではあるが本離れが進んでいるといえる。今後は、学校図書館の積極的な活用や、朝学習の時間を有効に活用しながら、本に親しむ機会を意図的に増やしていきたい。

<生活面>

設問2「学校のことを家で話している」については児童A評価が5ポイント増加しており、上記学習面における家庭学習についての設問と同様に家庭において、お子さまに寄り添って保護者の方とのコミュニケーションが深めていただいている成果がでているものと思われます。その一方、設問12「正しくやさしい言葉づかいができる」では、児童アンケートにおいてA評価が12ポイントの減少となっており、今後も学校の教育活動全般において他の人に丁寧に接することの大切さについて指導を継続して行っていきたい。